

# 緑の風 FAX版

NO. 51 2021年11月1日 JR東労組



JR 東労組ホームページ

## 「えん罪・JR浦和電車区事件」から19年

### 当たり前前の組合活動が強要罪に!?

「えん罪・JR浦和電車区事件」から今日で19年目を迎えました。

当時、突然の逮捕、取り調べの際に「JR東労組は内から壊れないから外から権力が介入するんだ」「労働組合が平和運動なんて生意気だ」「青年部を半分にしてやる」などと言われ、JR総連・JR東労組を弱体化させるための逮捕に、私たちは、えん罪事件として跳ね返すたたかいを推し進めてきました。

美世志会の仲間と共に、当たり前前の職場活動であることを裁判で明らかにしてきましたが上告棄却、会社からは懲戒解雇と悔しい結果となりました。

しかし、組織破壊である狙いを、組織はもとより、内外に明らかにし、支援の輪を創りだし、組織強化でその狙いを跳ね返してきました。

### えん罪のない社会と当たり前前の組合活動を!

これからも権力犯罪を許さず、職場活動を強化し『安全・健康・ゆとり』と『働きがい』が担保できる施策をつくり出し、えん罪のない安心して暮らせる社会実現のために行動していきましょう!



### 「えん罪・JR浦和電車区事件」とは?

2002年11月1日、JR東日本浦和電車区(現さいたま運転区)に所属する京浜東北線の運転士ら7名が、突然「強要罪」で逮捕され、34日間の長期勾留を余儀なくされました。

事件の発端は職場で開催した組合の集会や議論です。「被害者」となったY君は、みんなで決めたことを守らず、JR東労組を敵視している組合幹部の指示でウソをつき続け職場を混乱させました。先輩や同僚たちはY君に反省を促し、仲間から信頼された安全な輸送を担える一人前の運転士として育てようとなりました。

しかし、Y君は反省をせず、自ら組合を脱退しました。その後、職場の仲間から信頼を無くし、自分の意志で会社を辞めていきました。

その後、警視庁公安二課がY君に会い、被害届に署名・捺印させたことが裁判で明らかになりました。

## 職場からJR東労組運動を推し進めよう!